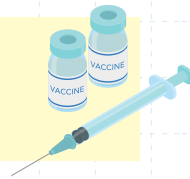


8月

県民へのワクチン接種を開始しました



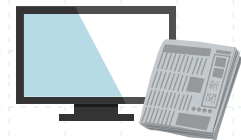
栃木県の要請を受け、8月5日より県内で2か所目となる新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場を開設しました。県の予約システムを使い、宇都宮市がワクチンを供給、当院が会場とスタッフを提供する、県・市と連携した取り組みです。

12歳以上の県民の皆さまを対象とし、月約3,200人分の枠を設けています。10月27日まで接種を行う予定であり、栃木県内の感染収束に向けて、ワクチン接種という形で協力していきます。



ワクチン接種会場の様子

新型コロナウイルス感染収束に向けて 地元メディアを通してお願い



新型コロナウイルスの感染急拡大に伴い、当院は地元メディアを通して、新聞やテレビ、ラジオなどで県民の皆さまに情報発信と呼びかけを行っています。

感染者数の増加に伴い、重症患者数も増加することとなり、コロナ重症患者の治療を行うためには、専用病床と多くの人員が必要です。そのため、入院や手術などの一般診療や、救急患者の受け入れを一部制限しなければならない状況となります。

皆さまには、日頃の行動様式の見直しと、感染対策の徹底に引き続きご協力いただきますようよろしくお願いいたします。当院も、医療を必要とする人が治療を受けられるよう尽力してまいります。

9月

「宇都宮市つながりサポート女性支援事業」を開始しました！

新型コロナウイルス感染症などの影響で、不安や悩みを抱えている女性に対する支援を強化するため、宇都宮市から委託され9月より「宇都宮市つながりサポート女性支援事業」を開始しました。

8月7日、同事業の一環として、今年度3回目となる食料配布会(兼)医療ソーシャルワーカーによる相談会を実施しました。9月は緊急事態宣言下のため、応急的に配送による支援を行いました。職員から寄付を募って集めた食料の他、生理用品も同梱、フードバンクに協力をいただき120セットを困っている方々に発送しました。「食費を削りながらの生活を続けていたが、今回の荷物を受け取って不安な気持ちが安心に変わった」など、たくさんの感謝の声をいただきました。



職員から寄付を募って集めた食料など